

変革・共創・前進が集約された第48回地区年次大会

緑の風がそよぐ芝生広場で開会宣言

あなたのクラブ、あなたの街のトップニュースを満載

LIONS・NEWS・FLASH!

<http://lionsclub333c.org/menu.htm>

C O N T E N T S

4

変革・共創・前進が集約された第48回地区年次大会
緑の風がそよぐ芝生広場で開会宣言



9

複合地区年次大会にも変革の波

11

近づく第85回大阪国際大会／大阪の魅力と歴史を探る

C地区の登録者数は群を抜く1,276名

14

次期国際会長のK.フクシマ氏と親しく歓談の副地区カバナーエレクト
[特別報告]エルカミノLC創立25周年式典に出席

13

速報! 「市原いちょうLC」が結成会を挙

あなたの街・あなたのクラブのトップニュースを満載

15

LIONS・NEWS・FLASH!

38

新たに入会された「ライオンと呼ばれる人」55名

37

ライオンズ・スピリッツ探究[㊦]

39

きゃびねっとかんじ・ほーむページ

40

編集室一筆啓上



表紙イラスト／アオシマ・チュウジ

第48回地区年次大会

緑の風がそよぐ芝生広場で開会式



ライオンズクラブ国際協会333-C地区の年次大会が4月29日に廣池学園・麗澤大学キャンパスで開催された。当日は関係者が願って止まなかった五月晴れ。薫風に鯉のぼりが泳ぎ、満開の「ナンジャモンジャ」がまさに花を添えて絵葉書のような舞台装置が整った。

正午、代議員総会・分科会を終えた代議員と大会参加の同志で広い緑の芝生はほぼ埋め尽くされ、それぞれに弁当を食べながら市柏高の演奏を待った。同10分。プロ野球開幕戦の巨人―阪神戦の開幕セレモニーにも出演し、いまや全国区の知名度を誇る市立柏高校のブラスバンド演奏が始まると、地域の市民も併せて会場は総立ちで演奏に聴き入った。演奏に合わせ民族衣装を纏った高度な演技も披露され、盛んな拍手を浴びた。

同30分。後藤ガバナーが開会を宣言。年次大会では初めて国旗掲揚が採用され、国歌を斉唱した。

現況報告が終わって式典は第2部会場へ。市立柏高校のブラスバンドの先導で各リジョンごとに隊列を組んで300m離れた体育館に移動する光景は国際大会のパレードを彷彿とさせた。

今大会の登録数は1,861人。会場が千葉県北端の柏という立地を考慮すると、予想を超える大会登録数であったと言える。

大会式典に先立って開催された代議員総会・分科会への登録は、代議員が398人。一般参加が272人の計670人。会場は麗澤大学の校舎で行われた。

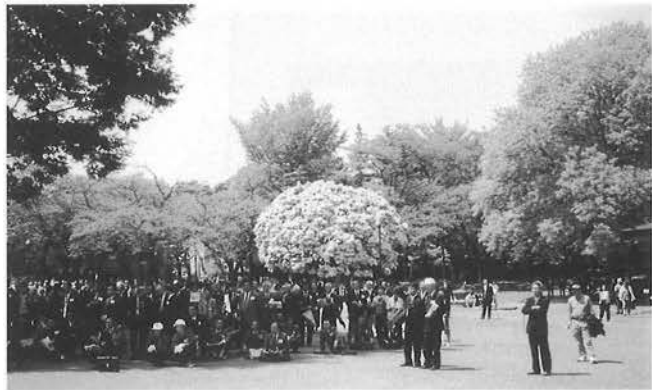
代議員総会々場入口では、次期ガバナー選出の投票が行われたが、これは従来、省略されていた事案を規則に則って初めて実施されたもの。

代議員総会も形式的な事案は省き簡素化されながらも効率的に運営された。

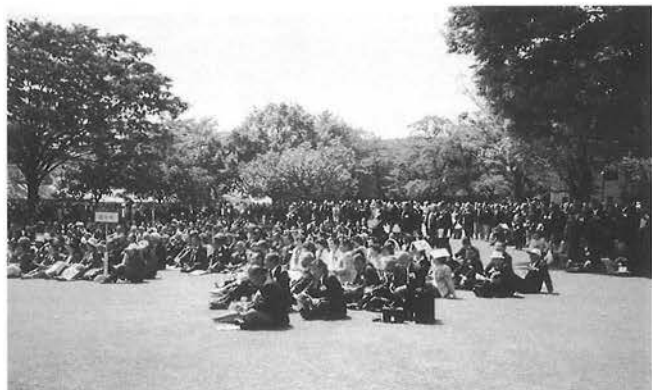
1号議案の次期ガバナーの選出投票は圧倒的な信任投票結果で議決され、他の大会提出議案もすべて満場一致で議決承認された。総会終了後は休憩を挟んで同校舎の各分科会々場へ移動した。



緑の森に囲まれ鯉のぼり泳ぐ中で国歌斉唱



珍木の「ナンジャモンジャ」の白い花が満開



広い緑の芝生広場は大会参加者でいっぱい



市立柏高のブラスバンドの先導で第2会場へ



大会式典に先立って開かれた代議員総会



聴覚障害がテーマの分科会では要約筆記も



ライオネスのフォーラムで講演する水野教授



若さがあふれ活発であった「レオ地区会議」

分科会はA～Hまで8つに分かれ
予め設定されたテーマに沿って討議・
討論が時間いっぱい展開された。F
分科会の視聴力保護・糖尿病教育・
献眼推進では、地元のボランティア
団体も協力をした。

ライオネスフォーラムには98人
が参加した。特別講演が組まれ麗澤
大学の水野治太郎教授が「弱さに向
き合うボランティア」と題して事例
を交えながら約40分講演された。

また同時に開催された333-C地
区のレオ地区会議には70人のレオ
が参加した。前日から役員が準備に
取り掛かり、当日は地区LEO委員
長の助言と協力を得ながら活発な大
会運営を行った。

今回の分科会はリジョンチェアマン
が委員長を務め、ゾーンチェアマン
が記録を執った。後日、あらため
て分科会報告が発送されるが、予め
具体的なテーマが早くから設定され
ていたことと、進行責任者の周到な
準備もあって中身の濃い実りのある
分科会となった。

11時45分には予定通り各分科会
が終了し、新緑を縫って廣池学園の
芝生広場で行われる式典会湯へ移動
となった。移動する歩道を包み込む
木々の下を体いっぱい森林浴を受け
て・・・。



変革・共創・前進をテーマに開催された地区年次大会。総括する後藤ガバナー

会場を移して式典2部が開催された。会場を取り巻く2階の回廊には地区内各クラブ旗が懸垂され、1,800席用意された椅子は、ほぼ満席。

正面ステージの両脇の大スクリーンには、つい1時間前に撮影された次期ガバナーを中心に三役が写し出される離れ業もあり、スタッフの周到的演出が光った。

来賓の本多晃柏市長の祝辞の後に、寺嶋周三年次大会委員長が秋の叙勲で勲4等授章の紹介があり、満場の祝福を受けた。

続いて式典最大のプログラムであるアワード授与は、ガバナーが会場を廻って直接、会長に手渡された。最優秀賞金賞は館山南ライオンズクラブが受賞した。また四街道中央ライオンズクラブはガバナー大賞、若獅子賞など6つの賞を受賞する快挙を遂げた。

大会式典は「また会う日まで」の斉唱で最終章となり、キッチリ予定時間の14時30分の閉会となった。



決意表明の飯塚次期ガバナー

同志の真摯な向上心を肌を感じる

地区ガバナー L 後藤 隆一

初めて野外での開式を試みた年次大会式典は、絵に描いたような五月晴れに恵まれホッといたしました。関係者各位の願いが天に通じたのでしょうか。皆様のご努力に感謝し、出席されたメンバー全員のご協力に心よりのお礼を申し上げます。

また、柏市立高校吹奏楽部の演奏は大変見事であり若者が精一杯の努力をする姿に感激致しました。

今後の活躍に一層の期待が集まります。年次大会は、地区内各クラブメンバーが一堂に会し議案審議等を行うと共に1年間の集大成の場として互いの努力の成果を称え、新たなる前進を誓う機会ともなります。緑豊かな環境のもと、県内各地域から参加頂いた皆様がゆったりと旧交を暖めていただけたものと、有り難く感じております。

さて昨年7月米国インディアナポリスにてガバナーに就任以来、年次大会までの凡そ10ヶ月間、各ゾーンへ伺った公式訪問の機会は基より、周年行事・クラブACT等でリーダーシップ溢れる多くのクラブ会長にお会いして話をお伺いし、その都度、大変頼もしく感じてまいりました。厳しい経済環境の中、そしてある意味社会が疲弊の症状を呈している状況下、ライオンズは何をなすべきかを真剣に思考し向上を指す姿に感激いたしました。強力なリーダーシップを発揮する会長の基には情熱盤



れるにはクラブメンバーが集い、向上心豊かなメンバーが多く在籍するクラブの会長は、明るく嬉々として会長職をこなされています。

残された任期僅かですが、最善を尽くすべく皆様と共に、更に一步前進を期したい。

複合地区年次大会も変革の波



5月12日に開催された333複合地区年次大会は、C地区年次大会同様に簡素化され画期的となった。当日は雨の天気予報が外れ、清々しい五月晴れとなり周囲の新緑も映えて大会を一段と印象付けた。

従来、形式にとらわれ無駄の多かった同大会を徹底的に見直し、代議員総会、分科会を省き、前年度決算報告等の議案は大会において審議を行い採決された。

今大会の佐藤貞夫大会委員長は、この複合年次大会を「21世紀の社会奉仕団体の大会」と位置付け、前年の水戸大会直後から改革に取り組んだが、今後の同大会の先例になると思われる。

議長報告はアクティビティの映像をバックにして行われたが、解り易く効果的であった。大会のあと柳田邦男氏が「いのち輝くために一尊厳死・脳死・終末医療を考える」と題して特別講演し、一般市民にも広く開放された。

好評だった歓談中心の晩餐会



333複合地区の重鎮を囲んで記念撮影に収まるC地区の有志

複合年次大会に先立って東宇都宮ホテルで晩餐会が行われた。例年、前夜祭と呼ばれていたものだ。A・B・Cの各地区から770名が出席したが、会は単に名前が変わっただけでなく内容も出席者本位に設定され好評だった。

従来、挨拶が入れ替わり立ち代り続き、辟易させられたものだが、金子議長の歓迎の挨拶の後、乾杯。あとはアトラクションもなく、ただひたすら食べて飲んで交流と歓談の時間。どこでもこの種の夕食会等には組まれるあのアトラクションは、費用をかけた割には出席者には不評であることが多い。歓談も音が煩くて俚ならずまた歓談・交流で会場内が落ち着かず、出演者にも失礼にあたる場合もある。

今回は、その意味からも時間が足りないほどで、各テーブルとも歓談に花が咲き盛り上がっていた。1年に1回の交流の場だけに出席者を主役に据えた「晩餐会」は、次回、複合議長となるC地区の関係者も大いにお手本となった筈である。

閉会后、参会者は三々五々、夜の宇都宮市内探訪に出掛けたが、詳細な情報と成果は現在、掌握されていない。

近づく大阪国際大会

C地区懇親夕食会に347名が登録



7月9日から開催される第85回大阪国際大会が近づいてきた。4月末日現在登録者数は1,278名。A地区の552名、B地区の707名と比べても群を抜く数字だ。

インターナショナル・パレードは、既報の通りUSJ（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）で行われるが、C地区は258名が参加する予定となっている。

また当日、夜に行われる「C地区懇親夕食会」には347名が登録を済ませており、インターナショナルなムード漂う中で、親しく歓談と交流が展開されるに違いない。懇親会々場は当初予定されていたホテル日航ベイサイドからJR大阪駅近くのホテル阪急インターナショナルに、参加人数の関係で変更される。

地区内各クラブは、それぞれに日程を組んで大阪入りするが、今号では改めて大阪の歴史と魅力にスポットを当ててみたい。

「水の都」といわれる大阪は、古代から川と海によって国内はもちろん、中国大陸や朝鮮半島との往来が盛んで、難波津はその重要な役割を果たしていた港だ。遣隋使や遣唐使の船が出入し、交易と文化の交流の拠点となっていたことは学んだ通り。



中世は極楽浄土を念ずる人たちで賑わった



「商売繁盛で笹持ってこい」と縁起物を貰う



本格的な能舞台。夏は大阪新能が見どころ

大阪はまた「天下の台所」とも呼ばれているが、有名なのが「くいだおれの大阪」を象徴する道頓堀だ。全国の海の幸、山の幸が集まり、日本各地の郷土料理はもちろん世界各地の料理にハズレはない。

千4百年の古都のシンボルは大阪城の南側にある難波宮跡。さらに南に下れば生國魂神社と四天王寺がある。四天王寺は593年に聖徳太子が建立した日本最古の官寺である。このあたりは上町台地と呼ばれ、歴史の埋もれた街だ。

日本三大祭りのひとつに数えられているのが、勇壮な水上の祭り「天神祭」だ。また初詣に次いで賑わうのが「十日戎」で大阪の人たちは「えべっさん」と呼ぶ商売繁盛の歳時。

能・狂言、文楽、上方歌舞伎など伝統的な芸能が継承されているのも大阪のまちだ。

文楽は300年の伝統をもつ人形芝居で、三味線と義太夫の語りに合わせて人形遣いが生き生きとした表情と演技を見せる。

これは人形浄瑠璃ともいわれ、近世の世界的文学者と評される近松門左衛門の町人物語で、ミナミの国立文楽劇場で鑑賞できる。

「市原いちようLC」が力強く誕生

ガバナーを迎え5月19日に社会奉仕の精進を誓い結成会



後藤地区ガバナー、岡野地区名誉顧問、キャビネット役員を囲んで決意新たなメンバー

地区内で125番目、市原市内で7番目のライオンズクラブが誕生した。四街道ユーアイLCに次いで今期2つ目の結成会である。

クラブ名の「いちよう」は市原市の「市の木」の銀杏からとったもので、大きな実を成らせる願いを込めている。今回の誕生には生みの苦しみがあつたが、難産の子は良く育つと言われているので、期待される。

結成会員は次の通り。佐藤勲 加藤正信 蒲孝逸 久保田欣克 杉井孝 三枝昌雄 鵜澤征子 竹内茂 長谷川雅昭 鎌田松夫 志村多加江 鳥屋豊 木田雅夫 勝地豊 野村久夫 草野慶子 千田美江子 佐々木利子 田中義一 高橋義明の各氏。



奉仕と友愛を誓う三枝会長

エルカミノLC25周年式典に出席

特別寄稿

副地区ガバナーエレクト L 内田 千尋



K.フクシマ次期国際会長を囲んで記念撮影の訪問団一行

1980年にカリフォルニア州ガーデナー市のエルカミノライオンズクラブと姉妹提携を結んだ当時の1R1Zのメンバーが4月14日に同クラブの創立25周年記念式典に出席した。

訪問団は市川LC、市川東、下総中山LC、市川北LC、浦安LCの有志で、笹本瞭元地区ガバナーを団長に20名の構成。今回は笹本元地区ガバナーをはじめご夫妻で出席された方が多いのが特徴的であった。

式典にはこの夏の大阪国際大会で国際会長に就任されるK. フクシマ氏が特別ゲストとして出席し、意欲的なスピーチをされた。エルカミノLCのメンバーは日系の方が非常に多く、これまで多くのガバナーを輩出している。

カタコトの日本語とカタコトの英語での交流は大いに盛り上がり、22年の長きにわたる姉妹交流の末永い継続を改めて誓い合ったが、交流は直接触れ合うことの大事さを痛感させられた今回の訪問であった。

LIONS NEWS・FLASH

最終版

大增頁で話題山盛り

**1R**

盲導犬支援の募金活動

市川ライオンズクラブの活動状況としましては、年2回の献血活動と盲導犬支援募金、ボーイスカウト市川第3団の支援、失語症友の会げんき会の支援、市川児童合唱団の支援等が主な年間活動ですが、今回は献血・盲導犬支援募金活動について報告致します。

毎年、4月と10月の第3土曜日に市川駅北口にて行っています。我クラブが献血活動を始めた歴史は、千葉県内に於いて一二に古くからの活動と聞いております。活動当初は一日の献血者数が300から400名もの多くの方々にご協力をお願い頂いたとも聞いております。

数年前までは私達クラブ員だけで献血の呼び掛け、盲導犬支援募金の呼び掛けをしておりましたが、2年前からは、ボーイスカウト市川第3団の方々のご協力を頂き、呼び掛けを行っています。

この4月も延べ大人6名、少年少女43名ものボーイスカウトの方々のご協力を仰ぎ、103名の献血者から25,400mlの採血を頂きましたし、盲導犬支援募金は147,520円もの浄財を募金することができました。ボーイスカウトの若く清く澄み切った大きな声での市民への呼び掛けは、男女年齢に関わらず、街行く人々の心に深く染み込んで行きます。

(市川LC)

1R

小中学生に薬物乱用防止教室

行徳ライオンズクラブの会長スローガンの「地域に応える優しさと微笑を」を念頭に地域を優先した事業に取り組んでまいりました。キャビネット主催の薬物乱用防止指導者講習会に出席し薬物の恐さまた低年齢層まで浸透しつつあることを知り危機感を持ち地域の子供達に薬物の知識を広めて乱用防止に役立てばと思ひ大石勇機ゾーンチェアマンの指導のもと社会福祉委員長秋本安夫が中心となり地域の小中学校の校長に当クラブの思いを相談したところ深く理解を示され実施の運びとなりました。実施にあたり「薬物乱用防止教室」とし2月5日市川市立塩焼小学校6年生122名クラブメンバー11名ゲストリバーサイドライオンズクラブより3名の参加。2月7日市川市立幸小学校6年生101名クラブメンバー17名参加、子供達には薬物の下敷を各自に配布し普段目に入るようにし薬物の恐さを身近に感じ取ることを願ひ、講師には千葉県警行徳警察署薬物担当官2名参加し人形など使い子供達の感心を引きながら授業ができました。この授業が今後毎年恒例の活動として認めていただき光栄に思います。



(行徳LC)



愛の献血に95名

1R

私達のクラブは333C地区で一番新しい生まれたばかりのクラブです。

昨年の6月結成以来、会長を中心に「明るく仲良く元気良く」を合言葉に奉仕活動に参加しております。

年間実施事業としましては

①青少年育成として、地元少年野球チームへの支援活動（野球ボールの提供）その他

②愛の献血運動の実施（血清提供者95名）

③福祉施設への支援事業（事務用品の提供）

以上3点については前期に実施した活動ですが後期6月までの活動の展開につきましては

①環境問題（道路へのタバコ、空き缶のポイ捨て禁止運動）

清掃活動5月26日は全員参加

②新しい取り組みの企画として、子供写生大会の開催が決定、その準備におおわらわです。

5月11日に妙典小学校の生徒を中心に約100名参加予定、学校側と打ち合わせ中。

休校日が多くなった昨今、子供たちのこころの教育になればと期待しています。

今日より又新しいクラブらしく創意と工夫をこらし頑張ってまいります。

(行徳リバーサイドLC)

2R

中古消防車を寄贈する

我が松戸ユーカリは毎年、地域社会の生活・文化・福祉及び公德心の向上に積極的関心を示しながら、各種の奉仕活動を実施し、広い分野に於いて多大なる功績を収め、内外から高く評価と、ご理解を頂いているクラブです。本年度は、事業の一環として、マレーシア国に消防車両二台を寄贈し、国際的な友好親善に役立つよう、今回も消防車両を贈る事にクラブ総意で決めました。この消防車両に関して、参議院議長倉田寛之先生始め、各階各層にご支援ご助言を賜り、又柿妹 Petalng.Jaya.L.C (Malaysia 国) のご協力をえて、この事業が成功に導いたと思っています。クラブを代表し、皆様方に厚く御礼申し上げます。我がクラブの名声を内外に高め、我々松戸ユーカリ L.C. メンバーに感激と感動を戴き誠に有り難う御座います。車両寄贈を掛け橋として、両国の友好親善と国際平和の活動の一助として寄与できる喜びを感じ、これを幾に我が松戸ユーカリは、更なる目標に向けて向上し、各種奉仕活動に専念致す所存で御座います。

(松戸ユーカリ LC)



2R

市消防局に救急救命機材を

1992年5月のチャーターナイトから早くも10年が経過。CN10周年のメモリアル・イヤーは、メンバー全員の協力で4大事業 (① 青少年健全育成としてYE生の海外派遣 ② 松戸市消防局に救急救命機材寄贈 ③ 松戸試写会福祉会館へグランドピアノ寄贈 ④ 映画「ホームスイートホーム」の上映) を成し遂げることが出来て今はクラブとして満足感を静かにかみしめています。救命救急機材は寄贈後すぐに『赤い救急隊』として出動する機会があり人命救助に役立ったとの話や「ホーム…」上映では観劇された人たちのアンケートに高齢化社会に対する思いが寄せられ、喜びと同時に今後のLCの奉仕活動の参考になりました。他にもチャリティーゴルフ、献血、松戸祭りなど多大な成果を上げることが出来ました。多くの皆様に支えられながら展開してまいりました節目の1年に感謝して、また新たな気持ちでLC活動に励みます。

(松戸南LC)

2R

新しい節目に向けて前進

我が流山ライオンズクラブは生誕 25 周年の節目の年でありました。柏ライオンズクラブのスポンサーにより流山に産声をあげた当クラブは、四半世紀に野田・流山シニアそして流山ライオネスクラブを結成、

We.Serve のモットーの基に、青少年健全育成・高齢者・心身障害児（者）等への活動の中で地域とのふれあいを大切にまいりました。

現下の社会状況を踏まえて、ライオネスクラブ 14 周年と合同で「われらライオンファミリー」のテーマで、後藤ガバナーはじめ多くのご来賓臨席のもと、賑やかに式典を行う事ができました。心より御礼を申し上げます。

記念事業の主なものは次のとおりです。

- (1)流山市へ防災備品、青少年課へ放送機器等
- (2)社会福祉協議会へ資金提供
- (3)さつき・つばさ園へ遊具等寄贈
- (4)333-C 地区へ青少年育成基金協力
- (5)助千葉県アイバンク協会へ支援金
- (6)ライオンの塔改修、他

(流山 LC)



2R

記念事業を通して奉仕

町立関宿小学校は、明治 6 年 10 月に、旧関宿藩所設の教倫館を仮校舎に充て開校以来 130 年の歴史のある学校であります。平成 11 年 9 月に移転し、現在に至っております。

旧跡地は、関宿城の石垣と、江戸川棒出しの石垣を使い造られており、歴史的に重要なものであります。当地の人々は、この小学校を卒業した者がほとんどであり、又、校庭には松、桜をはじめとする樹木があり、町民の心のよりどころとなっております。

様々な問題を解決し、新地の場所に移転した訳ですが、旧校庭の桜、松を見る時に、子俱の頃に戻るように、今の子供達にも同じ様な思いをつなげたいとの気持ちから、ライオンズクラブのメンバーに話しかけたところ、理事会に諮らうとの気運が高まり、今年 15 周年の記念事業になりました。まだ小さな松、桜の苗木ではありますが、子供たちの心の中に、小さな思い出として残る事を期待して植えた 1 本、1 本であります。

今回、松、桜の苗木を植えることが出来た事に、学校関係者の皆様に感謝申し上る次第であります。

(関宿 LC)

2R

ケナフと共に環境を考えてみませんか

平成13年9月2日流山ケナフコミュニティ農園で収穫祭が行なわれました。

5月に種をまき3ヶ月半で2～3mの見事なケナフ畑になりました。流山シニアLC

地元自治会等約90名の参加者が晴天の下、刈り取り皮むき皮干し等それぞれの仕事に汗を流しました。ケナフの葉と花の天ぷらなど、沢山のお料理もあり仕事を終えた後の食事に楽しい一時を過ごしました。南部中学の先生と生徒さんの参加もあり若い人々の環境問題への取組に心強いものを感じました。ケナフは他の植物に比べ二酸化炭素を多く吸って空気をきれいにする働きがあります。ケナフの皮を使って紙すきも楽しくオリジナルのハガキ等も自分で作れます。

今後ケナフを使った紙すき等各地で広めて行き、楽しみながら一人でも多くの人にきれいな空気・きれいな地球をと呼びかけて行きたいと思います。

(流山シニアLC)



3R

18本の桜の木を幼稚園児と共に記念植樹

私ども柏オークLCは、結成18年目のメインACTとしてかつては汚泥川だった河川敷が今は柏市民の憩いの散歩コースに整備された大堀川のほとりに結成18年目のACTとして18本の桜の木を幼稚園園児らと共に記念植樹を行いました。市立柏幼稚園の園児らは初めての体験に目を輝かせ、とても喜んでおりました。この事業を通じ私達は環境美化とその精神を養う青少年健全育成のACTを実施できたものと感じております。

この事業を通じ私達は環境美化とその精神を養う青少年健全育成のACTを実施できたものと感じております。

(柏オークLC)

4R

JR船橋駅北口のガムはがし

街を歩いていて気になるのは歩道などに点々と残る黒いしみ。ガムの投げ捨てる跡です。その街のマナーの度合いと比例するといえます。

十月八日の世界ライオンズデー、今年はJR船橋駅北口周辺のガム剥がしを記念アクティビティとしました。

バス停、デッキの階段、ヨーカ堂前の歩道などについてその数は驚く程。小雨の祭日、道行く人の「ごくろうさま」の声に励まされました。

(船橋中央LC)



4R

第6回チャリティーコンサート開催

船橋グリーンライオンズクラブでは、毎年恒例の明治大学OBマンドリン倶楽部によるチャリティーコンサートを5月4日に開催した。本年はゴールデンウィークの狭間の日程となり、来場者の数が気になったが、例年通り約800名の明大OBマンドリン倶楽部ファンで会場はほぼ一杯となった。また、今年度はマンドリンの調べだけではなく、船橋出身の落語家「三遊亭楽麻呂」師匠に小話を披露していただき、会場は笑いの渦で和気藹々となった。今回も収益金を車椅子購入資金とし、船橋市へ5台、船橋市社会福祉協議会へ5台を贈呈した。今後ともチャリティーコンサートを船橋グリーンライオンズクラブのアクトの柱と位置づけ、「やさしい街へ車椅子を・・・」を継続して行きたい。なお、我がクラブのチャリティーコンサートに毎年協力頂いているブラザークラブにあらためて感謝の表します。

(船橋グリーンLC)

4R

朋松苑に「五葉松」を寄贈

船橋シニアライオンズクラブは2002年6月開苑の船橋市立特別養護老人ホーム「朋松苑」に五葉松を寄贈した。

五葉松は朋松苑のシンボルとして、青々と人の心を癒すと同時に、いつまでも愛されつづけてほしいと願っている。(M)

五葉松の高さ…4.5m・幹の直径25cm

樹齢…約80年

(船橋シニアLC)



4R

薬物乱用防止講演会を開催

船橋東L.Cは、2月16日(土)千葉県立薬園台高等学校文化ホールにおいて、薬物乱用防止講演会を開催しました。船橋市教育委員会や船橋保健所、船橋東警察署、船橋市医師会、薬剤師会、PTA連合会、保護司会、民生児童委員協議会、更正保護婦人会、その他各種関係団体の皆様のご協力をいただき、船橋市長藤代孝七様のご出席をはじめ総勢350人の参加者を集める事ができました。参加者全員に薬物乱用防止資料、リーフレット、本、下敷き、ノート、消しゴム、ジュース等を配り、(財)麻薬覚醒剤乱用防止センター制作の「ダメ・ゼツタイスクール」のビデオの上映、船橋東警察署市川安全課長の「薬物乱用の現況と実態について」のお話、麻薬・覚醒剤乱用防止センター・キャラバンカー指導員、土屋様の「薬物乱用の怖さについて」の講演を行いました。

講演後、船橋市消防音楽隊と船橋市立七林中学校管弦学部による演奏を聴き、終了致しました。

(船橋東LC)

4R

献血活動の雑感

全国で年平均600万人を越える方より、献血(200mL、400mL)のご協力に感謝している1人でございます。我が333-C地区、年平均の実績は全血9,000,000mL 成分3,500余名と覚えております。

血液は、人の命を維持するため欠くことのできない大切な機能です。血液は人工による製造が出来ないと聞いております。医療に必要な血液を献血によって確保し、続けなければならないわけです。当クラブは、結成3年目より今日まで継続しています。そして将来も献血活動を続けたいと思います。

船橋駅南口開発工事で、街頭献血が不可能となり駅北口にルームが誕生し、活動方法が変わりました。献血者さんとの対話がなく通行者の皆さんへ「献血のお願い入り」テッシュ配りと併せ「献血にご協力ください」の連呼でした。午前2～3名、午後3名～4名の方から会場はどこですかと声を掛けられ会場へのご案内がとても嬉しかった。何時となく呼び込みしても通行者の関心がなく随分と淋しい思いも御座いました。クラブメンバーは少人数ですが、献血なくして語れません。暗中模索いつか良い日を目指して、安定的な供給を図る為にも皆で努力し、協力して微力ですが頑張る所存です。末筆になりましたが何時もご協力戴いている船橋市母婦寡婦福祉会の皆様へ厚くお礼申し上げます。

(船橋京葉LC)



4R

中学校で薬物乱用防止講演会

船橋北ライオンズクラブ最大のアクトとしております、薬物乱用防止キャンペーン第二回目の講演会を船橋の古和釜中学校で行いました。

当日は授業の一環として全校の生徒さん父兄の参加をいただき10月6日に同行の体育館で開催されました。講演では秀明大学の田中先生の話や船橋東警察の市川課長さんのわかり易い話と「覚醒剤・ダメ・ゼッタイ」のビデオが上演され参加者全員が真剣に鑑賞しておりました。この若い世代から薬物に対する怖さを知っていただければ、将来きっと薬物に対して正しく理解されることと思います。薬物に対する犯罪は年々増える現状の中で、私たちの活動が少しでも役に立つて行くことを願って今後も活動をしていくつもりでおります。

(船橋北LC)

4R

平和ポスターコンテストの表彰

2月27日 2001～2002年度ライオンズ国際平和ポスターコンテスト参加者より、優秀者と父兄 約50名をお迎えして、表彰式を行いました。

八千代ライオンズクラブが青少年健全育成のためのライオンズ国際平和ポスターコンテストをスポンサーして今期で7回目になります。市内小学校5・6年生を対象に参加を募り、夏休み前より画用紙の配布から準備をはじめ11月に応募作品は約930点を回収、審査、優秀作品の展示を済ませキャビネットに10点の作品を提出いたしました。

333-C地区に提出された作品より 八千代台小学校 6年 成田麻実さんのポスターが選ばれ、複合地区の方に提出されました。地区ガバナー・複合地区ガバナーより優秀作品に賞を頂きましたが残念ながら国際本部まで行く作品はありませんでした。

今回のテーマは自分が思い描く『世界平和への道に明かりを』いかなる文字をいれてはいけないと規定があり漠然としたテーマですが、子どもにしかできない自由な発想があるから描けるのだと思います。

今後も世界が平和で、世界中の子どもたちが安心して過ごせる世の中を、ポスターコンテストのスポンサーを通して訴え続けていきたいと思っております。

(八千代LC)



4R

愛の献血運動にご協力を

習志野中央ライオンズクラブでは、毎年2回京成津田沼駅前にて、献血を実施しております事前準備としては 必ず市役所、企業局、教育委員会、消防署、銀行、農協、商工会議所、各企業等に訪問し、献血のお

願いをさせて頂いております。

千葉県では、人間の生命に欠くことのできない血液がまだまだ不足しているとのことですので、これからも当クラブでは、引き続き献血活動を実施させていただきます。

【実績報告】

平成13年10月11日

200ml	400ml	低比重他	受付合計数	採血量
45名	45名	25名	115名	27,000ml

平成14年4月18日

200ml	400ml	低比重他	受付合計数	採血量
35名	44名	14名	92名	24,400ml

(習志野中央LC)

5R

第2回エコライオンズクラブ献血アクト

去る4月4日、本年度第2回の献血アクトを行った。今回は好天に恵まれ、そして永い間同じ場所で行っているので常連も多く、好結果が得られた。それにしても波木医師と看護婦さん、それから鈴木会長の事務員さんの毎回お手伝い。ライオンメンバー及びその企業従業員の積極的参加。なかでも就業中の時間帯に大勢の若者を参加させて下さっているホンダベルノ千葉(株)の君塚社長に感謝したい、そして毎回400cc採血を申請して下さるので、総採血量はいつも大量である。なお、ホンダベルノ千葉(株)では、県内各営業所所員を千葉の会場まで派遣して下さっている事を特筆しておきたい。



献血の成績は下記のとおり。

場所	採血種別人数			採血者合計	不適格者	採血受付者
	200cc	400cc	成分			
JR千葉駅	39人	52人	0人	91人	32人	123人
クリスタルドーム	7,800cc	20,800cc	0cc	28,600cc		
モルール千葉	11人	6人	40人	57人	10人	67人
献血ルーム	2,200cc	2,400cc	16,000cc	20,600cc		
合計	50人	58人	40人	148人	42人	190人
	10,000cc	23,200cc	16,000cc	49,200cc		

(千葉エコーLC)



5R

千葉京葉LCの自己紹介デス。

私どものクラブは、千葉エコーLCをスポンサーとして1968年、日本で1359番目のクラブとして呱呱の声を上げました。

会長は、当時千葉大学学長のL谷川久治(富山県出身)で、チャーターメンバーは51名でした。

私どもは、結成当初より「青少年の健全育成」と「明るく豊かに生活できる地域社会の建設」をスローガンとして、高等学校柔道大会、少年合気道大会、養護学校の運動会の奉仕活動、献血奉仕、アイバンクならびに千葉いのちの電話への協力等を継続アクトとして参加して参りました。

又、エクステションとしては、1976年千葉若潮LCを誕生。1996年、千葉京葉ライオネスクラブを女性だけのクラブ千葉ゆうきのLCとして独立、巣立って参りました。

なお、青少年健全育成の輪を海外に求め1996年中国・吉林芸術学院と学生奨学金援助協定を締結。学術向上の一助として寄与しております。以上、私ども会員一同は、結成当時の初心を忘れずに、ライオニズムの旗の下、常に社会奉仕に邁進して参りたいと存じます。

(千葉京葉LC)

5R

第25回千葉市『親子写生大会』

この大会は、例年文化の日に、千葉市の幼稚園、保育園児童から中学生までのお子様とその父兄を対象に、「わたくしたちの町、千葉市の美しさを描くことによって、郷土を愛する心を育て、併せて親と子の楽しい一日とする」を主旨にクラブ開設以来25年間、天候にも恵まれ一度も休むことなく開催されております。

参加人数は、ここ数年はおよそ1,000名前後で、以前には最高2,500名と云う時もあり昨今の少子化、IT革命等のニューエコノミー時代を迎え、家庭や子供たちの環境も大きく変化しつつあります。

毎度天候は？こどもたちは？と、不安をよそに『親子写生大会』の会場は、画板を持った親子でいっぱいになります。中には以前小学生で参加していたお子さんが大人に成長して、我が子を持って毎年参加される方も何組か居ます。

来年も、またみんなで力を合わせて頑張ろう。そんなアクティブィです。

(千葉若潮 LC)



立看板設置

高滝ダムを守るべき一人一人に対する環境保全を守る道しるべ。

飲料水として貯水してあるという心得を強調した呼びかけの看板を設置する。

5R



12月20日(木)

市原学園もちつき大会!

きなこ・あん・からみもち、豚汁、明るく素直な学園の生徒さん達と一緒に食べるお餅は、とても美味しかったです。

(市原南 LC)

5R

平成14年4月度献血ACTの成果

4月16日～18日の3日間、帝京平成大学の春季献血実地に際し、恒例により5R-3Z合同ACTとして構え、7Cより会員37名、及び同大学ボランティアクラブメンバー約20名が出動し、夫々積極的に対処、

偶、今回は春季特有の気象変化（初日時雨、2日日暴風）に災いされましたが、最終日の好天により挽回、3日間の通算実績は採血量114,400 ml（採血者311人）となり、前年対比16,600 ml 17.0%増の成果を挙げる事が出来ました。

次いで、4月23日、市原コスモスLCの単独ACLとしてマックスバリュウ辰己台店前において行われた同クラブ会員各位の習熟された対応措置と、当日は天候にも恵まれ採血量33,600 ml（採血者106人）となり前年対比14,400 ml 75.0%増の良績を収めた次第であります。

（市原東LC）



5R

たぬきの里で春の移動例会

4月7日（日）五井のイトーヨーカドー広場にて、3Z合同の「春の薬物乱用防止キャンペーン」を行なった後、私たち市原グリーンライオンズクラブは、「たぬきの里」（市原市柳原）に場所を移しました。

地域に密着したうるおいのある奉仕活動の一環として、お花の苗を植えて2年目になりました。

昨年の11月に会員が持ち寄った、たくさんの苗と、クローバー学園、ふる里学舎より園生の育てたパンジーの苗を購入し、併せて総株700余の株を植えました。

当日の草取りでは生育を楽しみにしていた苗を見ながら、手と口を動かし、花見を兼ねて移動例会としました。皆でいい汗をながし色彩やかに咲いてくれた花々を、鑑賞しながらお弁当を広げ、来年の予定を立てながら楽しいひと時を過ごし、会員同志の親交もより深まりました。

（市原グリーンLC）

6R

市民の協力が力強い献血事業

今年度より採血量の増大を図り・年1回の献血事業を二ヶ所（2回）にしました。第一回目は10月4日、北総地区最大規模を誇るイオン成田ショッピングセンターで（採血者228名、採血量（64600 ml）、第2回目は2月18日、リーガロイヤルホテルで（採血者255名、採血量65800 ml）行いました。メンバーのお願いした方以外、従業員の方、買い物、食事のお客様の大変な協力のおかげで、合計13400 mlと倍増しました。事業所の代表者の方に、感謝状を贈呈し、来年の協力もお願いしました。

（成田エアポート LC）



6R

塾生と取り組むお花炭づくり

平成11年8月2日に、八街市八街の20番地に開設した知的障害者授産施設「明朗塾」（施設長L内藤晃・利用者59名・職員27名）では、利用者（愛情を込めて「塾生」と呼ばれる。）の自立支援の事業として、地域の自然の贈り物の「いが栗」「松ぼっくり」「竹」などを「お花炭」に加工して、販売をしています。インテリアアートとして、お部屋の消臭剤として、沢山の人たちに喜ばれています。

八街グリーンLCでは、年間を通じてのアクトとして日常的に「明朗塾」塾生と交流しています。特に、空っ風の強い日に、屋外で塾生が元気に取り組む「お花炭づくり」には、一緒にお手伝いする寒さから首をすくめている私たちに、とても素晴らしい生きる力を与えてくださいます。

ぜひ、塾生の芸術品である「お花炭」セット（500円から）を皆さんお試し下さい。お問い合わせは、「明朗塾」043-442-0101（代）まで。

（八街グリーンLC）

6R

ドイツのYE生受け入れに学ぶ

最大のアクトはオリオンハウス（18才以上のHCP施設、全介助、車椅子20名）への金銭、労力アクトにある。

その他「花植」「献血」等の継続事業をしている。

今期最も印象に残ったのは、南ドイツからの女子学生、YE生のEvelyn、19才を受入れたことである。

四街道中央LCと共に我が家で2週間のホームステイを過ごした。イタリアに近いTett nang Fried richshafen, Bodenseeの湖のある美しい人口一万人の町で日本人は全く訪れて来ないとの事である。（地図参照されたい。）

オリオンハウスでの学習二日間は可成学ぶ事、驚き、があったろう。中学校での日本語教育、学期修了式のチャンスにも恵まれ、生のドイツ語、英語を中学生にスピーチすることが出来た。同時期来日中のオーストリア（ドイツ語）の人達と太平洋での初体験水泳、東京観光めぐり、日光、富士山、そして地元の幼稚園児達とも共に遊び給食を食べ、日本の文化、日常生活を充分楽しんで帰国した。DANKU !!（有り難う）（佐倉中央LC）



7R

薬物乱用キャンペーンを実施



1月13日「成人の日」に我がクラブの10年来続けている薬物乱用防止運動「ダメ、ゼッタイ」キャンペーンを新成人1300名に保健所の協力により、8時30分より銚子市文化会館前にて91才のL橋口をはじめ

30名によって行った。いま話題になっている「成人式」だが銚子では平穏でみな啓蒙運動に協力的であった。

その中に2月1日に行う「愛の献血のお知らせ」も同封したので当日は受付出来ない方が20名以上出るほど盛況であった。

（銚子中央LC）

7R

今年度の活動状況報告書

我クラブは結成以来、「青少年健全育成」・「老人福祉」・「環境美化運動」を三本柱に地域に根ざした事業活動を展開しております。8月にはライオンズ桜並木の下草刈り、10月は主用道路のカーブミラーの清掃、11月の月上旬には第26回四地区（横芝町・松尾町・芝山町・蓮沼村）のゲートボール大会の実施又同下旬には第18回目を迎えた四地区小学校対抗駅伝大会、12月には3町1村の幼稚園、保育園（16園）へのクリスマスプレゼントの配布です。また秋には松尾町にある琴平神社で行われる書道展にも協賛しております。特にここ数年前からは献血運動に力をいれるようになり現在では年3回実施している献血運動にも参加しております。大変きびしい経済状況の中ではありますが会員一同力を合わせてこれからも地域社会のために我々でできる奉仕活動を続けて行きたいと考えております。

(総武中央LC)



8R

木更津LCの8ヶ月を総括する

7月6日よりL金原がYE生を受け入れ、7月18日の第二例会でMis Kitri Eraisanenを囲みL家族と共に楽しいパーティーが行われた。

8月3日より友好クラブ、タイ国パナマハナコーンLCの会長交代式に4名のLが出席しました。

10月8日、木更津市民会館前のライオンズガーデン清掃、10名出席。

10月12日、木更津市役所前にて献血を行い10名出席。

10月7日～13日まで木更津市少年少女の球技大会が行われ800名が参加、木更津LCより毎年 金、銀、銅メダル60個が送られる。メダルを胸にかけてもらった時の子供達のうれしそうな顔がわすれられない。

12月9日家族移動例会を行いバス1台で房総一周し、20名が参加し楽しい一日を送った。

(木更津LC)

8R

チャリティーゴルフ大会を開催

2002年3月4日(日)結成35周年記念を祝して、木更津中央ライオンズのチャリティーゴルフ大会が、木更津ゴルフクラブで爽やかな青空の下、総勢208名の参加を頂き盛大に開催されました。

今回のチャリティーの大きな目的は、青少年の健全育成を目指し、8R青少年健全育成基金贈呈、又第30回木更津市教育奨励賞実施の資金獲得を目的に行うこととしました。

表彰式には、木更津市教育委員会教育長 西村 堯様、333-C地区8RリジョンチェアマンL. 松田 芳巳様をお迎えして、順位発表等楽しい一時を過ごし、盛大な内に終わりました。

チャリティーゴルフ大会成功に、ブラザークラブのご協力又、メンバー全員の努力とライオンレディーのご協力に感謝申し上げます。

ご苦労様でした。

(木更津中央LC)



9R

カンボジアに小学校々舎を寄贈

当クラブは、昨年11月、30周年を迎えました。1999年7月の例会にて多角的視野に立ち複数の事業が検討された。「カンボジアに学校建設をしてはどうか」と会員より提案がありライオンズクラブ国際協会の目的にもかなう事業であり、更には、内戦によって生まれた国内難民の自立、復興を目指すカンボジア政府並びにプノンペン市から当クラブに対し強い要請があり決定した。建設資金の一部が日本政府の「草の根無償資金」から供与され、2001年5月着工、同年11月19日姉妹提携先台湾松江LC、CLCP、及び多数の(3千人)関係者が参列し盛大な引渡式典が行われました。今振り返って見ますと完成までの間、クラブ内において紆余曲折が有り苦難を強いられていましたが、引渡式典に立ち会った時の感動は格別でありました。個人の力ではなかなか成しえない事業を達成する事が出来、このクラブの一員であることに誇りを持っています。

(館山南LC)

9R

薬物乱用防止講習会を開く

鴨川LCでは4名の薬物乱用防止教育講師認定者がおります。

平成13年度は、鴨川市及び天津小湊町内の小中学校11校にて同キャンペーンを実施しました。実施に当っては学校の年間行事計画を策定する4～5月に文章にて要請し、その後校長又は教頭先生と面談し、実施が決まる。したがってその手続きとしては大変な労力を要します。しかし講習当日生徒達は薬物の恐ろしさ、煙草の害について非常に熱心に聴講してくれて、後で生徒全員から感想文とか感謝状が届いたりすると、その苦勞も忘れ、その効果の大きさと、また我がライオンズクラブの活動にご理解を頂いたことに対し、講師始め会員一同大満足です。今年度より公立小中学校にては、カリキュラム軽減に伴ない総合学習の時間等を設け、このような社会教育の機会が増えるものと思いますが、このキャンペーンは継続アクトとして益々充実させていただきたいと思えます。また、今後は献血の重要性についてもふれたいと思えます。

(鴨川LC)



9R

姉妹クラブ交流を促進

去る平成14年2月10日に、房州白浜ライオンズクラブと、群馬県の子持ライオンズクラブと姉妹クラブとして調印が結ばれました。

白浜町と子持村とは、平成6年9月1日に姉妹都市として締結し、両町村民同士の交流が盛んに行われ交流を深めています。そんな友好関係からライオンズクラブでも姉妹クラブとして、交流を図ろうと言うことになり、333-A地区板垣ガバナーのもとに調印の運びとなりました。

この日子持ライオンズクラブは10周年を迎えられ、盛大に式典が挙行されました。

今後は、交互に出向き友好を深め、また定期的に情報の交換を行い、両クラブの熱き友情と両クラブの繁栄を築きつつ、地域の人々の希望の灯りであることを確認し合いました。

(房州白浜LC)

9R

第12回安房学童柔道千倉大会実施

日時：平成13年11月23日
 開会 午前9時10分
 主催：千倉町柔友会
 後援：房州朝夷ライオンズクラブ
 場所：千倉町総合運動公園（B & G 海洋センター柔道場）



小学生100名参加による柔道大会が開催されました。男女混合の学年別のトーナメント方式による個人戦 5人1チームによる団体戦と熱のこもった技を競いました。会場には学童の応援をする家族の方 安房群市町村の柔友会の指導者の方等で盛り上がりました。千倉柔友会は当クラブ会員3名が指導者として地域の青少年育成活動に意欲的に取り組んでおります。

(房州朝夷LC)



9R

夷隅・市原地区青少年剣道大会の開催

夷隅ライオンズクラブ杯争奪第8回夷隅・市原地区青少年剣道大会が2002年2月17日に夷隅町立国吉中学校体育館で行われた。

開会式では、主催者として夷隅ライオンズクラブの高師恒雄会長が格調の高い挨拶で大会の幕は切って落とされた。

試合開始に先立って行なわれた日本剣道形の演技は、打太刀久間正剛七段と仕太刀元吉正昭七段で行なわれ、その静と動の美しさと気合いの凄さに選手たちは深い感銘を受けたようだった。

試合は小学生と中学生は団体戦で、小学生の部が10チーム、中学生の部が15チームで争われ、高校生は個人戦で男女43名が参加して試合が行なわれた。

毎月1月から3月にかけては各種団体主催のこの種の大会が全くない時期なので、選手たちは夷隅ライオンズクラブ主催のこの大会を待ち望んでいたように、平素の練習成果を遺憾なく発揮し、気合いの入った真剣な試合が随所に見られた。

こうして試合は一つの事故もなく盛会裏に終了したが、その陰にはクラブ員による事前の準備はもちろんのこと、当日の受付、進行、広報、救急、弁当、駐車場等々の自主的、献身的な奉仕活動があったことを忘れてはならない。

(夷隅LC)

1OR

茂原桜まつりに参加、体験餅つきが大盛況

2002年3月30日、31日の2日間、茂原公園内にて茂原市観光協会主催恒例桜まつりに便乗し、当クラブにて餅の販売、トン汁、ニジマス塩焼、甘酒等の販売を行う。

当クラブ員は観光協会員が多く、普段より市の観光事業に協力し、協会の承諾のもと開催する運びになりました。当日は天候にも恵まれ、家族連れでの人出が多く、ライオンズクラブのアピールと事業の例を照会する事ができました。特につきたての餅は、餡、大根おろし、きな粉、海苔と4種類を作り大好評。又、トン汁は1,000人分即売となり、子供体験餅つきが参加者にとっては、とても良い思い出となったようです。尚、2日間での収益金100,000円は障害児へのチャリティー事業資金と致しました。

(茂原LC)



1OR

社会福祉青少年育成資金チャリティー

平成13年10月28日茂原市ひめはるの里産業祭が行われました。当日の天候はあまり好ましくない状況でしたが毎年恒例の地域ぐるみの産業祭と云う事もあって多くのお子様連れ御家族で会場も大変にぎわいました。

当クラブでは石焼芋の販売を行い500人以上の人にお買い上げ頂きました。その売上金を茂原市社会福祉課にて石井茂原市長さんに手渡し寄付致しました。

(茂原長生LC)

1OR

源氏蛍の飼育に苦勞

ことしは、蛍が早く飛び立ちそうなので、4月21日あいにくの雨でしたが、蛍の飛散防止用のネット張りを実施しました。

現在の場所（町の汚水処理場）に移ってきてから3年、水質の確保、環境の改善など苦勞が続きました。

また、エサとなるカワニナの採集から水路の周囲の草刈り、ある時は水路に紛れ込んだ鯉の捕獲に手こずるなど、手間もかかります。

そして1年、6月はじめの雨上がりの蒸し暑い夕暮れ、メンバーは期待に胸躍らせながら、じっと蛍の光り出すのを待ちます。

そして、ことし初めての蛍がかすかに光った時、1年間の苦勞はすっかり忘れてしまいます。

（白子LC）



1OR

年3回 400cc献血のお願い

人口の少ない町での献血活動は希望者をどのように集めるか苦勞をします。

以前は町とのタイアップで役場公民館前で行っていましたが、ジャスコ大網店のご協力を頂き駐車場で単独開催が定着しました。

今回はジャスコ大網店の店長も先頭になり献血にご協力を頂きました。

（大網白里LC）

7R

作業所のお手伝い

総武中央ライオネスクラブは、毎月第二水曜日PM1:30～4:00まで芝山、松尾、横芝、三カ所の福祉作業所を順番でお手伝いしています。

ミシンをかけたり、袋入れをしたり、メンバーと楽しいお話しをしながら手を一生懸命動かし、思わず時のたつのも忘れてしまいます。

持参したお菓子で作業所の人達とのお茶も楽しいひとときです。



空き缶、ゴミ拾い

平成13年10月、LS連絡員 L菱木清に車の応援をお願いして、空き缶、ゴミ拾いを行いました。

いつもながらの、ポイ捨てのカン、ビン、ゴミの多さに驚いたことでした。
(総武中央LS)



8R

「ライオンズの森」の草刈作業

例年 7月、10月、3月に、袖ヶ浦市民会館前にある森親クラブの諸先輩達が、桜の植樹等をして憩いの場を作り地域の人々の心が癒されるよう大切に守って来た森いつしか『ライオンズの森』と慕われるようになってきました。その場所を親クラブの方たちと草刈清掃を行っています。

毎年、桜の花の咲くころ【桜祭り】を親クラブが袖ヶ浦市民会館前にて行っています。私たちライオネスクラブは、甘酒を作り桜祭りに来てくださった方々に、召し上がっていただきました、地域の方々が少しでも心暖まって楽しんでいてくれたらとの気持ちで一杯でした。

カラオケや舞踊やフラダンス等とても華やいで人々の笑顔がとても微笑ましいものでした。またフリーマーケットも開催して一段とにぎやかでした。

(袖ヶ浦LS)

8R

福祉作業所でのたのしいパン作り

ネスクラブだけでアクトをと言う事になり、「あけぼの園」の園生の皆さんとパン作りをすることになりました。

まずはネスの人達だけで、梅津LSを講師に、リハーサルを行い、いざ本番自信(?)をもって当日をむかえました。

粉を正確に計る人、力いっぱい生地をこねる人、パン生地を丸める人、それぞれ園生のもち味を生かして、なごやかにたのしく作業が進みました。最後のオーブンに入れる所までなんとかこぎつけ、オーブンからパンの焼けるこげばしいなんとも言えないいいにおいができて一安心。こげないように祈りつつ、無事焼き上がりました。においにさそわれ、他の園生や先生方も、のぞいていました。

焼きたてのパンはおいしくて、暖かくて、いい香りでお腹も心も満たされました。園生の皆さんや先生方の嬉しそうな顔に満足しつつ喜びいっぱい、園を後にしました。

(木更津金鈴LS)



8R

待望の新入会員を迎えて前進

3月17日例会の折、緊張の中でゆっくりネスバッジを贈呈する三辻会長の雰囲気からほっとひと安心の気持ちが伝わって来ます。会員不足の折柄、これからのアクト活動に大切な仲間として進んで行きましょう。

悲惨な交通事故の多い中地元警察と共に交通安全キャンペーンのお手伝いをしました。整備された道路状況に、つい初心を忘れ無理をすることも多く、誰もがひやとした経験があると思います。

「注意一秒！ケガ一生！」

(富津LS)

ライオンズ・スピリット探究

ライオン誌日本語版事務所発行の「ライオンズ・スピリット」は、ライオニズムのダイジェスト版と言われ、アメリカで誕生したライオンズクラブの全てを分かりやすく解説している。

地区年次大会も終わり、役員任期もあと数週間となった。次期役員は来年度の事業計画立案に意欲を燃やしている時期であろう。最終回となったが文中から何かを掴んでいただきたい。

【クラブ間交流の堆進】

クラブライフの充実には苦勞されるが、同じ顔ぶれがいつもの場所に集まっていたのでは、マンネリ化による活力低下は避けられない。テール・ツイスターに任せ切りで防げるものではない。

そこで、会場、時間、食事等の変化、移動例会、ゲスト招待、各種イベントなどいろいろ知恵が必要となってくるが、多クラブとの交流はこれらの一環として薦められる。



元来、相互啓発はクラブ・ライフの大きなメリットのひとつ。単一クラブ内だけのメンバー間では、おのずと限界があるのでマンネリ化打破と併せ一石二鳥ということになる。

単一クラブで行える活動や行事には規模的にも制約があるが、数クラブ合同で行えば、その成果は相乗的に高めることもできる。また良い意味での競争意識も涵養されてクラブ活動の活性化にも寄与することは明らかです。クラブ運営に携わる三役を始め、理事構成員の意欲的で前向きな思考が大切である。

ライオンと呼ぶる人



We Serve

新たに入会された55名の精鋭 (2月~4月)

R	Z	クラブ月	入会月	新会員名
2	1	松戸南	2	飯塚 貴之
				青木 秀夫
3	1	我孫子	3	椎名 文夫
	2	柏グリーン	2	鈴木 秀史 森川 雄一
4	2	鎌ヶ谷	2	松戸智絵子
			4	石神市太郎
	3	白井	3	矢花 衛
5	1	千葉幕張メッセ	2	近藤 一夫
			4	岡村 二郎
			2	田中志満子
			4	西川 正 渡辺 幸哉
	2	千葉京葉	2	溝口 律夫
	3	市原	3	西村 和男
				高石 啓助
				末吉 守
	4	市原コスモス	4	白井 敬二
				杉田 満
坂下 善行				
6	1	成田エアポート	2	根岸 宣恵
			2	遠藤 英夫
			3	大森 良三
	2	八街グリーン	4	田中 朋之
				4
7	1	銚子	3	西島 寿典
			2	飯森 剛士 小倉 芳美 松川 康夫

R	Z	クラブ月	入会月	新会員名
7	1	東庄	3	長谷川康夫
			3	神崎
			4	銚子中央
	2	八日市場	3	石毛ヨシエ
				石橋 幸子
	3	銚子ウエストポート	2	加瀬 芳子
日高 幸子 飯山 穰二				
8	1	袖ヶ浦	2	大久保芳治
				稲毛 基浩
			3	山本 清吉
				中村 稔
	2	木更津金鈴	2	三股 千安
				藤田 剛
				赤星 哲也
	1	館山中央	3	富津
				上総
				君津
9	1	館山南	2	平野 寿
			山本 誠一	
	2	鴨川	4	外山 庄次
			房州白浜	
			夷隅	
10	1	大網白里	4	辰野 絹代
			2	一 條 武志
2	大網白里	3	青木 昭	
			山口 芳昭	
1	茂原たちばな	4	河田 正人	
			生城山一夫	
2	大網白里	3	北田 宏彦	
			鉢金 優司	

※市原いちょうLCの会員名はP13に掲載。



きゃびねっとかんじ・ほーむぺーじ

<http://www.cabinet.secretary.co.jp/...?>

(コノアドレスハイワユルヒトツノデザインジョウノカザリデス。アクセスフノー)



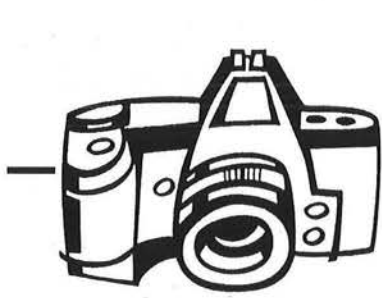
§ 一時、雨男と呼ばれ、何をしても降雨に見舞われたが、このところ逆転現象を起こしている。ご承知の通り地区年次大会は文句の付けようのない五月晴れ。複合地区の大会も雨の予想を覆し、新緑眩しい良天気となった。私事ですが、5月3日に行われたテニスクラブの親睦大会も好天に恵まれ、懇親会でのビールの味も格別でありました。

§ 7月9日から開催される大阪の国際大会は、平年では梅雨の真っ盛り。ジメジメと蒸し暑い嫌な時期だが、この調子でいけばカラリと晴れた真夏の太陽に遭遇し、パレードの後の生ビールが五臓六腑に浸みわたりそうだ。夜の地区懇親夕食会も多数の登録をいただいた。内局構成員の総力をあげて印象の残る「交流と歓談」の場としたい。

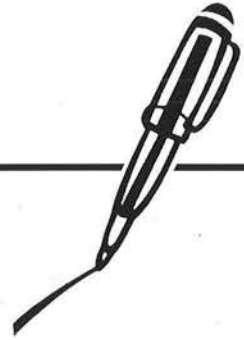
§ 年次大会のF分科会では椎名委員長の進行で聴覚障害について討論されたが、今、「ディスコ難聴」と呼ばれる聴覚障害が急増しているという。これはディスコやロックコンサート、ヘッドホンステレオなど現代の電子音響文化が生んだ現象で、24時間以上続く耳閉塞感難聴のこと。

§ 一般に聴覚障害のない音の強さは85デシベルが限界とされている。因みに地下鉄車内が87～88デシベル。この限界を超えると聴覚に障害が起こる。そのメカニズムは、内耳にはコルチ器という音の振動を神経刺激に換える装置があるが、そのコルチ器は蓋膜と有毛細胞からなり、音によって蓋膜と有毛細胞のこすり合いが起こる。そして生じた電気刺激が神経を伝わって大脳の聴覚中枢に送られる仕組みになっている。ここが爆発的な音で破壊されると難聴になる。中高年ほど手遅れになるといわれるから注意したい。何事も早期治療が肝要だ。





編集室



§ 国際化の時代になり、家庭にもコンピューターが普及して、世界がより一層身近になってきた。世界の文化、芸能、また政治や経済などなど、ありとあらゆる様々な情報がお茶の間で入手できるようになった。しかし、その情報を得て、それをどう判断し、どう生かしていくのかは、その人間の資質・価値観に委ねられている。これからの日本が国際化の中で担っていく役割は何か。それに向かって果たさなければならない国の義務と国民の役割は・・・？

一連の外務省の不祥事を国民と世界中にその醜態を晒してしまったことは、国民の外務省への不信感、海外での日本への評価を著しく低下させてしまった。日本への信頼を回復し、国際社会で重要な役割を果たしていくためには、政治家や官僚の意識改革は当然のこととして、私たち自身の改革も必要である。

戦後の高度成長時代の技術革新による大量生産と、それを支えてきた大量消費は日本を世界有数の経済大国に押し上げ、戦後復興の目的は達成した。しかし、その陰で犠牲となってきたものは数多いが、子どもたちもそのひとつと言ってよいであろう。

これから真の意味で国際人を育てていくには、幼い頃の経験が大切で、いかにその環境を整えていくかが重要であり、真剣に考えていかななくてはならない。青少年の健全育成が大きな柱のライオンズのボランティア精神は、それらを支える一助になることは疑いの余地がない。

(編集長/L丹羽信敬)

§ 早いものでインディアナポリスの国際大会で後藤ガバナーが誕生して1年が過ぎようとしています。私もキャビネット構成員の一員として「地区ニュース」の編集委員を担当してアツという間に最終号となりました。クラブ会長と年次大会副委員長の3足のワラジを履いての原稿集めと原稿整理には苦労もありましたが、出来上がった時の喜びはひとしおです。またPR情報委員の方々の強い熱意には感激いたしました。ライオンズは素晴らしい人たちとの出会いを演出してくれます。ありがとうございました。

(編集委員/L坂巻恵子)



「地区ニュース」 №4

2002年6月10日発行

発行人 後藤 隆一

編集人 丹羽 信敬

発 行 ライオンズクラブ国際協会333-C地区
千葉市中央区間屋町1-55 シーオービル
TEL 043-243-2528

印 刷 中央印刷株式会社

